

# はばたき

特集 1  
大学発ベンチャー  
特集 2  
新学長インタビュー

No.143  
2021.July



## CONTENTS

p01 特集① 大学発ベンチャー

p05 特集② 新学長インタビュー

p07 CAMPUS TOPICS

- ・2020年度 国家資格試験合格者状況
- ・看護学部附属「看護実践教育研究センター」を設置
- ・日・米・モンゴル・タイ4か国5大学を結ぶオンライン国際協働授業を実施
- ・本学公認クラブSSSが内閣府特命担当大臣表彰を受賞
- ・2020年度学生による地域志向研究・地域貢献プロジェクト成果発表会を開催
- ・おいしい多文化交流！静岡市エスニックレストランマップを作成
- ・経営情報学部岩崎ゼミの学生が考案した「ふりそ～る」が商品化
- ・鬼頭宏学長の最終講義を行いました
- ・『大学生が考えた大学生のためのファシリテーションガイド』が完成
- ・令和3年度入学式および令和2年度入学式を開催しました
- ・「世界大学ランキング日本版2021」で本学が4年連続で100位以内にランクイン
- ・美味しいお茶飲みましたか？ Free Tea Caféを開催
- ・コミュニティフェローの称号授与及び特別表彰
- ・第35回 剣祭 ・ 第25回 橘花祭 告知

p13 研究室訪問

- ・短期大学部 高田佳輔講師

p15 活躍する卒業生 食品栄養科学部

活躍する在学生 國際関係学部

p16 産学民官連携

p17 図書館だより

- ・大学での時間を図書館で過ごしてみませんか？/私の一冊の本

P18 Information

- ・教員・学生の受賞
- ・教員人事

## 特集①

## 大学発ベンチャー

大学発ベンチャーとは、大学で教員、研究者、学生、職員が得た技す。大学発ベンチャーは、大学に潜在する研究成果を掘り起こす。目標指す「イノベーションの担い手」として高く期待されています。静岡県立大学では、主に本学の教職員が所有する特許権や商標した技術知識等を活用して設立したものなどを大学発ベンチマー認定大学発ベンチャーとして10社が登録されています。登録された認定大学発ベンチャーには、本学内にインキュベー主催のイベントや本学広報誌等で積極的に広報するなどの支援

今回、静岡県立大学認定大学発ベンチャーのうち、4社にインタビューを行いました。なお、どの認定大学発ベンチャーも、静岡県立大学の教員が行った研究から得られた成果を社会実装し、広く社会に貢献しています。

術知識や知的財産権を活用して事業化する企業のこと  
し、新規性の高い製品やサービスにより、新市場の創出を  
す。

権等の知的財産権を活用して設立したもの、本学で習得  
チャーとして取扱っており、現在は静岡県立大学におけ

ション室を確保し、一定期間無償で貸与することや、本学  
を行っています。



## 株式会社 アデノプリベント

大腸がんリスク  
検査キットの販売

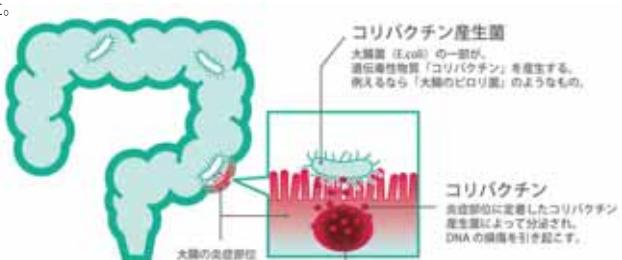
薬学部教授 渡辺賢二

①事業形態や事業概要、事業目的を教えてください。

大腸がんのリスク因子を測定することを目的とした健診事業を主に行ってています。大腸がんの将来的なリスクは、その人の腸にコリバクチンという遺伝毒性物質がいるかどうかで判定できます。検査キットにより、コリバクチンの潜在を調べることで、将来的な予防のきっかけになります。現在までに検査キットによる検査は7000件に達しています。

②会社を設立するに至った経緯やきっかけ等について教えてください。

元々私自身、コリバクチンがどのようにできているかを研究テーマしていました。コリバクチンが大腸菌によって作られていることが分かり、ある一つの酵素を調べればコリバクチン産生菌がいるかが便から判断できることが分かり、検査キットを作成しました。検査が広く普及すれば大腸がんの予防につながるため、研究から社会へのアウトプットがでければと思い、会社を設立しました。



③現状の課題や今後の展望などあれば教えてください。

検査後の実際の除菌が課題になります。例えば胃がんなどはヘリコバクターピロリ菌が原因として知られており、その除菌方法も確立されていますが、コリバクチンには除菌方法がないのが現状です。大腸は大腸フローラと呼ばれる細菌が2500種類ほど確認されており、その中には人間に不可欠な働きをするものもあります。コリバクチンによく似た働きの細菌もあり、現状コリバクチンだけを選択的に洗浄する方法はないため除菌する際には人体にリスクがあります。そういう課題解決のために大腸がんのリスク因子だけを選択して除去するワクチンの開発も望まれています。

## 株式会社 396バイオ

微生物の  
研究・開発

食品栄養科学部准教授 原清敬

①事業形態や事業概要、事業目的を教えてください。

- 私たちは、微生物などの細胞の物質変換能力を活性化し、有用物質の生産性を高めることを目指しています。微生物によるものづくりをベースとする発酵技術を発展させ、それを活用するバイオエコノミー産業は、21世紀の世界経済の成長をけん引していく分野として注目されています。私たちは、微生物の力を十二分に引き出し、食料・エネルギー・環境・健康といった人類が直面している様々な難問を解決したいと考えています。

②会社を設立するに至った経緯やきっかけ等について教えてください。

- 大学と企業との共同研究は重要ですが、学生にとって、自分の研究が社会につながる実感を得られるという利点がある一方、守秘義務の制約から学会等で発表できないという欠点がありました。そこで、新たな研究分野を開くような新規性が高く挑戦的な研究は大学で行い、これらの研究を社会につなげるためのより実用的な研究については既存企業に頼らず、できるだけ自分たちで開発をすすめるために396バイオを設立しました。

③現状の課題や今後の展望などあれば教えてください。

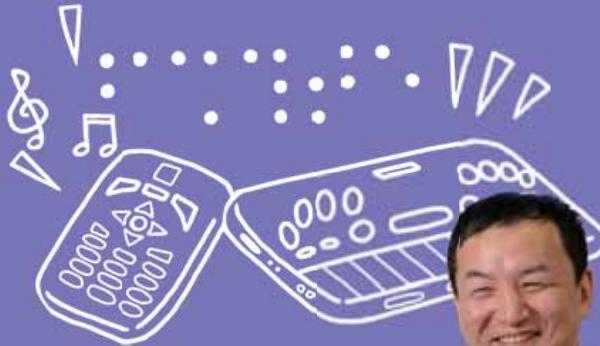
- スタートアップ企業である396バイオは、現在は、静岡県のマリンオープンイノベーション機構(MaOH-PARC)内の共同ラボで主に研究開発を進めています。将来的には、テニスコートを備えた自前の研究所「396バイオラボ」を設立するのが夢です。そして、長期的な信頼関係を築いた研究機関や企業と協働し、微生物の力を様々な形で社会に生かし、ヒトと地球のより良い未来に貢献していきたいと考えています。

マリンオープンイノベーション内のラボの様子



# 大学発ベンチャー

## 有限会社 エクストラ



視覚障害者向け  
支援機器の開発

国際関係学部教授

石川准

### ①事業形態や事業概要、事業目的を教えてください。

障害のある方々、特に視覚障害のある方々とそれを支援する方々に対して支援機器の開発や海外製品を日本語に移植して販売しています。



▲ブレイルセンスボラリス (Android搭載携帯情報端末)



▲ブレイズ ET (携帯型 OCRマルチプレーヤー)

### ②会社を設立するに至った経緯やきっかけ等について教えてください。

私自身、全盲の視覚障害を持っており、研究者として生きていくうえで様々な壁がありました。研究をするうえでコンピュータの利用やインターネット等の最新の情報を素早く得るために支援機器が必要でしたが、残念ながらそういうものはまだ日本にありませんでした。そうした道具の必要性を実感し、そのためのソフトウェア開発を自分で始めたのがきっかけです。元々作ることが好きだったので楽しみながら開発を進めることができました。ただ、一人での開発には限界があり、他の人の力を借りながらの開発の必要性に気付いたため、会社の設立に至りました。今から20年ほど前に私の開発したソフトウェア販売を行う形で社員1名の会社をスタートしましたが、現在では10名程の社員がいます。

### ③現状の課題や今後の展望などあれば教えてください。

第一に手掛けている事業の市場規模が小さいこと、次に高齢化が進んでいて現役で仕事をしたり、学校に通っている人が少なくなっていることが挙げられます。数が少なくなつても必要としている人がいることは変わりませんが、その市場だけでは存続が難しくなった時に違う市場での展開が必要になると思います。また、近年の支援工学におけるAIなどの最新技術を使うと今までできなかつたような支援の可能性が広がりますが、小さな会社でそういう技術を追いかける難しさを感じています。そういう自社開発ではできない事は他社の技術をライセンスしてもらったり、海外製品を日本語にローカライズする選択をしたりしてきました。

## NPO法人 ホスピタル・プレイ協会 すべての子どもの遊びと支援を考える会



HPS人材の  
育成・支援

短期大学部准教授 松平千佳

### ①事業形態や事業概要、事業目的を教えてください。

ホスピタル・プレイ・スペシャリスト(以下HPS)の養成とキャリアアップ支援、HPSのための遊び道具の開発を行っています。HPSとは遊びの力を用いて、医療と関わる子供たちがその治療体験を肯定的なものとして捉え、主体的に治療と向き合えるように支援する英国生まれの専門職です。特に治療を受けている子供が自分の状態を遊びを通じて正しく理解し、医療に恐怖を抱かないようにするために、様々な遊びによるコミュニケーションを図ります。HPSを目指す受講者は講義・実習等併せて32日間の講座を受講し、資格修得後は全国の病院や施設で活躍しています。

### ②法人を設立するに至った経緯やきっかけ等について教えてください。

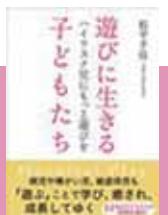
元々行っていたHPS養成講座の修了生を応援するための機関としてNPO法人を立ち上げました。場所によってはまだHPSという職への理解が浸透していないこともあります。専門職として信頼されるための免許の更新制度も導入し、3年に1度の更新を義務付け、常に質の高い人材育成に努めています。

### ③現状の課題や今後の展望などあれば教えてください。

教育と実践の両立がこの事業の難しさだと思っています。小児医療を円滑に進めるためにHPSはいますが、医療関係者の理解が得られないことが多いです。子供に遊びが必要なのは気持ちの問題ではなく、科学的に裏付けられている問題ですが、その理解がまだ浸透していない部分も多く、HPSの活動上の障壁となることがあります。発祥地のイギリスでは子供の権利に対する意識がかなり確立されていますが、日本ではまだそのような意識は低いです。一方で日本人は手先が器用で様々な工夫ができるので、そういう点で日本ならではのHPSの遊びが生まれるのではないかと期待しています。

### HPSについてもっと詳しく知りたい方へ

「遊びに生きるこどもたち ハイリスク児にもっと遊びを」松平千佳著  
子どもの生きる喜び、成長について考えさせられる、とても読みやすい書です。



## 国際関係学部2年 柴田せいあさん

私は昨年入学し、コロナの影響で学校に行ける機会が少なく、人と交流する機会もあまりありませんでした。学生ボランティアセンターに入って「たべものカフェ」などでお話を聞いていると、私以外にも多くの方が「誰かとおしゃべりしたい」と思っていることが分かりました。

今後、コロナが終息して多くの人と自由に交流できることを楽しみにしています。



## 経営情報学部3年 大石鱗太郎さん

私が所属する八木ゼミでは、主に静岡市清水区の観光について研究を行っています。フィールドワークやアンケートによる調査をしたり、観光客数や旅行消費額などのオープンデータから経済効果を分析したりしています。地域を知り、地域とつながり、人とつながる。観光やまちづくりの観点から静岡を盛り上げていきます。



一自己紹介をお願いします。

**尾池学長** 3年前に本学の理事長となり、今年度から学長も兼任することとなりました。私は大学を卒業してから今までずっと研究者として大学に籍を置いており、通算すると60年以上大学にいる人間です。研究者としては地震の研究をしており、ここ40年は静岡と関りが深かったです。最近は教育者として自然科学全体の話を学生さんにお話ししています。学長になってからは大学公式サイトに「静岡の大地を見る」と「薬草園歳時記」という2つのブログを開設し、静岡県の特徴や本学薬草園についてのエッセイを連載しています。大体食べ物の話が多いですね。やはり皆さんの関心も高いですから(笑)。

一学長として新しい施設を作りたいというお話を聞きしました。

**尾池学長** 大学にあってしかるべきもので現在、静岡県立大学にはないものがあります。大学の博物館などの研究成果発信の施設、それに併設される形でのミュージアムショップ、地域の人も自由に利用できるカフェです。そういったものができれば、大学の教職員・学生と地域の人が気軽に交流できる憩いの場が生まれるのではないかでしょうか。

**石橋** 私は地域の人々と交流できる場が一番必要かなと思います。現在吹奏楽部に所属していて、定期演奏会を毎年行うのですが、地域の方々にお知らせする方法が悩みどころです。

ツイッターなどで発信しても地域のご高齢の方などには伝わらな

尾池学長就任記念／＼

新学長

特集②

Interview



いこと很多いです。そのためそのような情報共有の場としても交流できる場所があればいいなと思います。

**尾池学長** 今年度から既に始動している事業として学生団体「K-commu(ケイコミュ)」に協力いただいている「Enjoy lunch time project」があります。現在は試用期間ですが、もし定着すれば地域の人にも利用してもらいたい考えです。現在ある学食だと地域の人が入りづらい側面もあるかと思いますので、オープンなスペースの創出としてそういう取り組みを行いました。

**難波** 大学横にある芝生園地には年齢問わず、色々な方が利用していますよね。ああいった場所に学びながら遊べるスペースがあるといいのではないでしょうか。

**尾池学長** 今は「ご自由にお使いください」という形で使われていますね。施設を新たに作るというのはなかなかお金がかかることなので後回しになりがちですが、今の長所を生かしつつ芝生園地も活用したいです。



▲「Enjoy lunch time project」の様子

一ほかにも新しく考えられている事業はありますか。

**尾池学長** 今年度、小鹿キャンパスに初めて「副学長」を設置しました。小鹿キャンパスの運営も含めて将来計画をまとめる必要が



今年度より本学学長に就任した尾池学長に  
学生たちがインタビューを行いました！

## 尾池 和夫 略歴

1963年、京都大学理学部地球物理学科卒業。理学博士。  
京都大学防災研究所助教授、京都大学理学部教授、大学院理学研究科教授、大学院理学研究科長、理学部長、京都大学副学長、京都大学総長、京都芸術大学長などを歴任した。  
2021年度より静岡県立大学の学長に着任。俳人としても活躍。  
主な著書に『2038年南海トラフの巨大地震』、『季語の科学』など。



## 薬学部5年 難波良太さん

所属している生薬学研究室では、天然物の生合成経路・メカニズムを解析する研究しています。

自然界には、人の手でつくり出すのは難しいが、病気を治したり害虫を駆除したりというような“クスリの候補”がたくさんあります。

そのような天然物の研究を介して、新しい医薬品の誕生に貢献できたらと考えています。



## 食品栄養科学部4年 石橋弥生さん

私は、フードマネジメント研究室に所属しており、静岡県内のシカの食肉特性について研究しています。授業での実験とは違い、自分で方法を考えながら研究することは難しいなと日々感じますが、シカの高密度化によっておこる農林作物の被害を軽減し、シカ肉の食資源化を継続するために、これからも研究に取り組んでいきたいです。

あると思います。

また、まだ形になってはいませんが、今考えているのは学長室のオフィスアワーの設定です。例えば火曜の昼休みなど、私が必ず在室している時間を設定し、学生さんに自由に来てもらいたいと思っています。既に何人かの学生さんにこの話をしたら非常に好意的な反応がありました。学生さんだけでなく、職員の方などからも幅広い意見を聞きたいと思っています。

**柴田** 最初は緊張して入りづらいと感じる学生がいるかもしれません、広まればそのような場を必要とする学生もいるかもしれませんね。

## —これからの大学について

**尾池学長** 大学のシステムというのは長い歴史の中で形作られてきたものです。現在新型コロナウイルス感染症の影響でうまくそのシステムが回っていない点もありますが、収束後には必ず元のあるべき姿に戻るものと確信しています。今まで県立大学がたゆみない努力で積み上げてきたものになるべく早く元に戻し、その続きを進めたいというのが私の考えです。教育・研究・社会貢献・国際交流という大学の4つの柱を、本来の姿できっちりやることこそ大学の使命かと思います。今回の社会状況で見つかった改良点もありますが、ポストコロナをわざわざデザインする必要はないと思っています。

インタビューの様子 ▶

## 寄り道おしゃべり

**大石** 京都大学の総長時代に総長カレーを作られたとお聞きしました。県大でもこういった製品を作る予定はありますか。

**尾池学長** 総長カレーを作ったきっかけは京大の学生たちが学食で総長と関連するメニュー開発に取り掛かったことです。学食でのモニタリングを経て開発されたメニューを京都の会社より製品化の声がかかり、発売に至りました。口コミでひそかに「総長カレーを食べると京大に合格する」との声が広まり、好評をいただいている(笑)。高校の先生が箱買いしていましたこともありましたね。ぜひ経営情報学部の学生にはそういった製品開発のアイデアも期待したいですね。そういう時に販売するショップがあるとより開発する気になると思いますのでショップはぜひとも欲しいですね。



## 2020年度 国家資格試験合格者状況

2020年度新卒者の国家試験の合格状況は、右の表のとおりとなりました。各試験において毎年度高い合格者数を保持しています。国家試験対策として、質の高い授業、模擬試験の実施やその結果を踏まえた教員による個別指導等、対策の強化を進めています。

管理栄養士国家試験および歯科衛生士国家試験の新卒合格率は5年連続で100%を達成し、全国の大学別順位でいずれも1位となりました。また、2010年に大学院看護学研究科に助産師養成課程を設置以降、助産師国家試験の新卒合格率は100%を継続しています。また、今年度は看護師、介護福祉士の試験においても合格率100パーセントを達成しました。

国家資格の名称	学部・学科	受験者数（名）	合格率（%）
薬剤師	薬学部	本学 79	93.67
	薬学科（6年）	全国 8,711	85.55
管理栄養士	食品栄養科学部	本学 24	100
	栄養生命科学科	全国 9,643	91.3
看護師	看護学部	本学 109	100
	看護学科	全国 66,124	90.4
保健師	看護学部	本学 91	98.9
	看護学科	全国 7,834	94.3
助産師	看護学研究科	本学 5	100
	実践看護学 助産学分野	全国 2,108	99.6
歯科衛生士	短期大学部	本学 39	100
	歯科衛生学科	全国 7,099	93.3
介護福祉士	短期大学部	本学 32	100
	社会福祉学科 社会福祉専攻	全国 6,542	72.9

※薬剤師および管理栄養士の全国の受験者数・合格率は新卒者のみの数値となっています。

## 看護学部附属「看護実践教育研究センター」を設置



第1期生入講式での記念写真

2020年12月1日、地域包括医療を遂行するための有効なヘルスケアを実践し、医療機関・福祉機関・保健機関と地域との協働・連携を円滑に運営できる看護実践家の創出やケアのパフォーマンスを向上させる教育・研究・開発を促進させ、その成果を地域や国内外へ還元することを目的として、看護学部附属機関として「看護学実践教育研究センター」が設立されました。2021年2月22日には厚生労働省より看護師特定行為研修の指定

研修機関に指定されました。4月2日に看護実践教育研究センター長、特定行為研修をはじめとする看護実践教育研究センター運営委員の出席および看護学部長、看護学研究科長の陪席のもと、2021年度看護師特定行為研修の第1期生の入講式を挙行しました。このコースの研修生は、大学院修士課程の学生と同じ研究室で学習できる環境と同時に受講生が働きながら受講できるようにe-ラーニングの受講環境も整えられています。

## 日・米・モンゴル・タイ4か国5大学を結ぶオンライン国際協働授業を実施

1月19日、小鹿キャンパスで、日・米・モンゴル・タイの4か国5大学をオンラインで結び、米国ボストンカレッジ(Boston College)看護学部研究科の副学部長であるクリストファー・リー(Christopher Lee)教授を講師にお迎えして、看護学部専門科目「国際看護論」等で国際協働授業を実施しました。

本学では、2018年度から上智大学・お茶の水女子大学と共に、オンラインによる国際的な双方向の教育手法(COIL: Collaborative Online International Learning)を利用した遠隔教育および交流事業を軸とする日米二国間の大学間連携を図るプロジェクトを取り組んでいます(文部科学省補助事業)。今回の講義は、そのCOILプロジェクトの一環として実施したものです。

リー教授が教鞭をとるボストンカレッジは、米マサチューセッツ州にあるイエズス会系の名門総合大学であり、リベラルアーツの伝統に基づいた一般教育をはじめ、教育・看護分野も人気が高く、またCOILプロジェクトの米国連携10大学のうちの1校です。

参加大学は、本学のほか、国内から上智大学が参加し、海外からもモンゴル国立ドルノゴビ医科大学とタイ国立コンケン大学が加わり、ともに学ぶことができる良い機会となりました。

講義では、「病院から在宅へのトランジションにおける心不全患者のセルフケア」をテーマとし、日本では、2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が推進され、医療における移行(トランジション)支援としてのトランジショナルケア

が重要な役割を果たす中、リー教授による米国での事例分析を通じて、自宅移行期の患者の管理リスクや支援のあり方、課題等について理解を深めました。講義は英語で行われ、本学看護学部の根岸まゆみ講師らが通訳を務めました。

最後に、質疑応答では各国の学生から質問が寄せられ、本学の学生も英語でリー教授に質問する場面が見られるなど、活発な質問が行われました。



講義に参加する各国の学生

## ■ 本学公認クラブSSSが内閣府特命担当大臣表彰を受賞



授賞式に参加した副代表の渡邊康希さん（静岡大3年）と前代表の大谷好恵さん（県立大4年）

2020年11月27日、本学公認クラブの静岡学習支援ネットワーク(SSS)が、「子供と家族・若者応援団表彰」の内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました。

これは、内閣府が毎年、子供・若者の健やかな成長に資することを目的として、子供・若者を育成支援する活動および子育てと子育てを担う家族を支援する活動において顕著な功績があった企業、団体又は個人を表彰するものです。

静岡学習支援ネットワークは、「勉強をしたくても、できない子どもたち」の

力になりたいとの思いをもった大学生が集まり、2012年2月に誕生しました。

団体設立時から『私たちは勉強してもできない子供たちの一一番近くで一人ひとりに寄り添った学習支援をします。そして、どんな子供たちも夢にチャレンジできる環境が保障された社会をつくることに貢献します』というミッションを掲げ、毎週3つの教室を開き、子供たちの学習支援や居場所支援を行っています。現在は、本学や静岡大学など、68名の学生が活動しています。

## ■ 2020年度学生による地域志向研究・地域貢献プロジェクト成果発表会を開催



鬼頭学長と学生による意見交換会の様子

本学は、2018年度までの5年間、文部科学省採択の「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)により、地域貢献に取り組んできました。それを引き継ぐ形で、現在は「地(知)の拠点事業」として、地域貢献や地域における調査・研究などの活動

を進めています。

2月19日、「ふじのくに」みらい共育センター(COCセンター)主催の「学生による地域志向研究・地域貢献プロジェクト成果発表会」が開催され、さまざまな地域課題に対して、薬、食品栄養科学、国際関係、経営情報の4学部の学生が1年間の活動を発表しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発表はオンラインで配信しましたが、本学が認証した健康長寿フェローおよび地域みらいづくりフェローの社会人、本学の学生、教職員など多くの方に視聴いただきました。発表後は、鬼頭宏前学長と4学部の学生による意見交換会

も開催し、学生が地域活動に対する想いなどを伝えました。

鬼頭宏前学長、合田敏尚センター長はじめ6名の大学関係者が審査し、4件に奨励賞、特に優れた取組み2件には「地域みらい研究賞」を授与しました。



集合写真

タイトルおよび発表者(発表順) ◎は「地域みらい研究賞」受賞発表(※学年は受賞当時のもの)

タイトル	学部	発表者(学年)
藤枝茶の香りが持続するマスクフィルターの設計	薬学部	内山 嘉稀(4年)
地域食材を活用した口コモ予防レシピの開発:清水産枝豆に関する生産・消費実態の調査と活用法の提案 ◎	食品栄養科学部	石橋 弥生(3年) 鈴木 璃恩(2年)
草薙地区の無人野菜販売所を紹介する[くさなぎベジマップ]作成 ◎	国際関係学部	清水 胡桃(3年)
集まれ 三保から生まれる地域の輪 農泊×サイクリング	経営情報学部	池田 珠乃(3年) 野原 百合子(3年)
観光を通した地域貢献一小山町・ 伊豆市との協働	経営情報学部	長岡 佳成(3年) 飯田 晃大(3年)
静岡県立大学生による地域の健康増進支援活動の取り組み	薬学部	小野 雅也(3年)

## おいしい多文化交流！静岡市エスニックレストランマップを作成

2020年度、国際関係学部の高畠研究室では、海外渡航が制限される中、地元で外国出身の人たちと交流ができる機会を増やすためのマップを作成しました。ゼミの学生たちがお店のウェブサイトやSNSを探した結果、市内に81か所のエスニックレストランや食材店が確認できました。

このほか本学の地域志向研究費を利用した「駿河区マップ」、しづおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業助成金を利用した「静岡市全体マップ」の2種類があり、いずれも500部印刷し、市内の公共施設や国際交流協会等で配布されました。

ています。また、紙のマップからQRコードでアクセスできるグーグルマイマップは2021年6月9日までに表示回数が2410回を超えるました。ぜひご利用下さい。

ダウンロードは  
こちらから



## 経営情報学部岩崎ゼミの学生が考案した「ふりそ～る」が商品化



プレゼンを行う学生

経営情報学部の岩崎邦彦教授ゼミの学生4人が考案した、「ふりそ～る」がこのほど商品化され、3月15日に静岡市の静清信用金庫本社で発表会が行われました。「ふりそ～る」は、株式会社美浜工業の形状記憶素材を利用し、一人ひとりのかかとの形状にぴったり型取りを行うことで、女性の靴ズレの悩みを解消するインソール商品です。

「ふりそ～る」は2019年11月の「第5回知財活用アイデアプレゼン大会 静岡大会」で最優秀賞、翌12月に「知的財産ステンアワード(全国大会)」で優秀賞を受賞しました。

発表会では、静清信用金庫理事長の佐藤様から、知財活用アイデアプレゼン大会の成果物として初の商品化に至った本商品

の取り組みに対するお祝いの言葉をいただきました。

その後、商品開発に携わった学生から、「SNSを中心に発信され、2019年の流行語大賞でトップテンにも入った『#KuToo運動』をきっかけに、女性がパンプスによる靴ズレに悩まなくて済むような商品の開発を思い立ちました。実際に調査したところ、パンプスによる靴ズレに悩むたくさんの女性からの声があったことから、自宅でも簡単に型取りできるインソールを安く手軽に入手できるよう、1年以上かけて商品開発に取組みました。」と商品紹介ありました。また、「商品名は、女性がもっと自由に働くようにとの願いを込めて『フリー』と『インソール』を掛けて『ふりそ～る』と名付けました。実際に履いてみると靴が脱げる心配がなくなり、歩きやすくなつたような気がします。『ふりそ～る』により女性が働きやすい社会に一歩でも近づけば嬉しいです」と商品への想いを熱く語ってくれました。

学生を指導した岩崎教授からは「学生の強い思いと、地域の皆様のご支援があったからこそ、商品化にたどり着くことができました。学生のアイデアを形にしていただ

きました美浜工業様、サポートをいただきました静清信金、静岡県産業振興財団の皆様に感謝いたします。マーケティングでは製品完成はゴールではなく、スタートです。この商品が多くの方のお役にたつことができれば嬉しく思います」と今後の商品展開への期待が聞かれました。

本商品は5/20～5/25に松坂屋静岡店にて学生によるデモ販売が行われました。



集合写真



松坂屋静岡店で行われたデモ販売の様子

※「ふりそ～る」は、美浜工業株式会社のHPで1個1,980円（税込）で販売されているほか、大丸松坂屋オンラインショッピングでも購入が可能。

## 鬼頭宏前学長の最終講義を行いました



最終講義を行う鬼頭前学長

3月23日、鬼頭宏前学長の最終講義をオンライン・対面の両形式により開催しました。

4部構成で組み立てられた講義は、鬼頭前学長の専門である歴史人口学から始まり、歴史における人口減退期がなぜ生じるかや、新しい豊かさを求めて必要なこと、本学での取り組みや今後に期待することについて話がありました。

歴史人口学を学び始めたきっかけについては、恩師である故速水融慶応義塾大学名誉教授との思い出を交じながら語り、中学生のころから民俗学に興味を持ち生活史を勉強したいと考えていた自分には、人間のくらしや自然などさまざまな分野と密接に関わるこの学問がぴった

りとはまたと述べました。実際に歴史人口学ではどのような調査を行うのか、その結果わかることなどについても解説を行いました。

縄文時代から現代まで人口の大きな増加と減少を繰り返した4期間を見ると、人口減退期には文明が成熟し弊害が生じてくる時期であることを解明し、これまでに関与した政策課題プロジェクトでも、こうした流れの中で21世紀を考える必要があることを提言していると述べました。また、先進国が1970年代半ばから合計特殊出生率2.0を下回ったが、その後、改善した国と依然下回る国との違いはジェンダーギャップの大小にあること、ジェンダー平等は学長が注力する SDGs の大き

な目標の一つであり、日本における課題であることを指摘しました。

最後に、本学への期待として、SDGs の取り組みや教育活動による地域貢献への想いを伝えました。2019年11月に発表した静岡県立大学SDGs宣言を契機に、本学で行われている全学的な取り組みを紹介し、今後、地域づくりの核として、本学が知的ハブの役割を果たすことへの期待や、学生団体K-commuやたべものカフェの取り組みなど、コロナ禍での学生の支援活動にも触れ、「学生自ら動いて支え合う姿勢こそ教育の成果であり、静岡県立大学としての役割が果たされている証です」と学生・教職員への感謝の言葉で講義を締めくくりました。



鬼頭前学長（前列左から2人目）を囲んでの記念撮影

## 『大学生が考えた大学生のためのファシリテーションガイド』が完成

静岡県立大学ファシリテーション同好会(※)が、冊子『大学生が考えた大学生のためのファシリテーションガイド』を作成しました。

学生生活では、サークル活動や授業など多くの場面で、話し合いや交流をすることがありますが、こうした場面を円滑に進めるための技術がファシリテーションです。本冊子は、ファシリテーション同好会が2020年度を通じて、ファシリテーションについて学び実践した成果をまとめたものです。ファシリテーションに関する用語集、ファシリテーションのコツ、同好会が行ったさまざまなファシリテーションの

事例、オンラインでのファシリテーション、ファシリテーションに関する書籍の紹介など、冊子には、大学生の目から見たファシリテーションのすべてが詰め込まれています。

なお、本冊子は、静岡県立大学・令和2年度学部研究推進費「学生が行うファシリテーションハンドブックの作成」を活用して作成しました。本ガイドは本学ホームページからダウンロード可能です。



学生が行うファシリテーションガイド表紙

※ファシリテーション同好会とは、静岡県立大学国際関係学部の学生を中心にファシリテーションに関心のある学生が15名ほど集まり、ファシリテーションについて学び実践しているグループです。

ダウンロードは  
こちらから



## 令和3年度入学式および令和2年度入学式を開催しました

4月8日、静岡市駿河区のグランシップで、令和3年度学部・短期大学部・大学院の合同入学式を開催しました。また昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響で挙行できなかった、令和2年度入学生対象の合同入学式も午後に執り行いました。

入学式は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学生のみの出席となりましたが、令和3年度入学の学部生684人、短期大学生117人、大学院生158人、計959人が希望を胸に新たなスタートを切りました。

尾池和夫学長は「これから世界では、生涯健康を維持しながら、生涯学習を繰り返し、常に新しい知識を得ていくことが大切です。大学では、生涯、学習を

続けることができる能力を身に付けてほしい」と式辞を述べました。

新入生を代表し、食品栄養科学部の井嶋美羽さんが「さまざまなことに挑戦し、視野を広げることで社会に貢献できる人間に成長できるよう努めます」と抱負を語りました。

続いて午後に執り行われた、令和2年度入学生対象の合同入学式では、尾池学長が今年3月末に退任した鬼頭前学長の式辞を代読し、鬼頭前学長の入学生に対する思いが伝えられました。また、薬学部2年の鈴木浩章さんは、「1年遅れの入学式を迎える、うれしく思う。不安が多くかった1年間を糧に、大学生活を実りあるものにする」と誓いの言葉を述べました。



学位授与式の様子

## 「世界大学ランキング日本版2021」で本学が4年連続で100位以内にランクイン

4回目のエントリーとなる「THE (Times Higher Education)世界大学ランキング日本版2021」において、本学の総合ランキングは94位となりました。4年連続で100位内にランクインし、公立大学の中では15位、東海4県の大学の中では11位の順位でした。

本学の地域に根ざしたきめ細かな教育および研究が学内外から評価されるとともに、教育リソースや教育充実度の向上への取り組みが100位以内を継続することにつながりました。

この成果を踏まえ、2019年11月に発表した「静岡県立大学SDGs宣言」にもあるとおり、人材の育成を通じ、また、知の探求を通じて、地域をつくり、地域をむすび、未来をつくることをめざし、引き続き教育および研究両面の充実に取り組んでいきます。

### <THE世界大学ランキング日本版について>

THEは英国の世界大学ランキング最大手で、株式会社ベネッセコーポレーションと業務提携し、2017年から「世界大学ランキング日本版」を発表しています。日本版では、大学の収入・学生数・教員数などの基礎情報に加えて、論文数や高校教員・企業・研究者を対象とした評議調査などに基づきランキング化が行われます。2019年版からは実際に在籍する大学生の声「学生調査」もランキング指標に加わりました。また、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で、学部の教育力にウェイトを置いてランキング化が行われます。

### 第35回 剣祭

10月30日（土）・31日（日）

●草薙キャンパス

今年のテーマは「RESTART」です。イベント内容は、剣祭実行委員会において検討中ですが、オンラインとの併用等、感染防止対策を徹底することにより開催する予定です。新型コロナウイルス感染症の流行状況により、開催方法等変更の可能性があります。詳細は大学ホームページをご確認ください。

●TEL 054-264-5070(剣祭実行委員会)

●turugi@u-shizuoka-ken.ac.jp ●<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

### 第25回 橘花祭

11月13日（土）・14日（日）

●小鹿キャンパス

短期大学部の大学祭です。例年、保育士・介護士・歯科衛生士を目指す学生による展示や、クラブ・サークル等による模擬店、橘花祭実行委員会主催のイベントなどを行っています。今年度の開催については検討中です。詳細は短期大学部ホームページをご確認ください。

●TEL 054-202-2603(学生室)

●<https://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

## 美味しいお茶飲みましたか？ Free Tea Caféを開催

2020年度、学内に、「学生に美味しいお茶をプロジェクト」が立ち上りました。茶の持つ幅広く、奥深い魅力や静岡の風土の素晴らしさについて理解を深めてもうるために、多彩なお茶を飲んだり学んだりする機会を提供しています。2020年度の「たべものカフェ」参加者や茶学入門受講生、卒業生などには紅茶と緑茶の配

布を行ったり、食堂では昼食時にティバッグやティサーバーによる呈茶をしました。「静岡のお茶×チョコレート」ペアリングイベントでは、バレンタインデーに向けた「一言コメント」を募集し、優秀者にはお茶1年分とお菓子1年分を贈呈しました。本年度もコロナ禍が続きますが、万全の注意を払い、食堂での呈茶や月1回の小さなFree Tea Caféを開催しています。また、様々な機会を捉え、静岡茶情報の発信はもとより、さまざまな品種、産地のお茶や時には斬新なお茶、世界の珍しいお茶にも出会えるような企画を考えています。ぜひとも色々なお茶を愉しんでみて下さい。



「一言コメント」コンテスト授賞式



## コミュニティフェローの称号付与及び特別表彰

地域住民とともに「チーム活動」を牽引する「コミュニティ・ワーク力」を備えた人財の育成を推進するため、「静岡県立大学コミュニティフェロー」の称号を付与する制度を2017年度に創設しました。

2020年度は94名に付与し、うち9名を特別表彰しました。

### 〔特別表彰受賞者一覧〕(所属と学年は2020年度のもの)



氏名	所属	学年	主たる活動内容
松下 優作	薬学部	6年	健康イベントにおける地域住民への健康啓発活動
五十嵐 弦	薬学部	5年	広報しづおか新年号特集記事での地域特産品の紹介、県大Stage2020開催及び広報活動 など
渡仲 亮太	薬食生命科学総合学府	修士2年	健康フェスタでのマネジメント(2018年～2020年)及び地域高齢者に対する栄養相談
岡本ひなた	食品栄養科学部	4年	みなくるおよび草薙地域における健康支援に関する活動
藤原沙希子	国際関係学部	4年	動物愛護のための啓蒙及びボランティア活動
柿宇土勇太	経営情報学部	4年	静岡県内におけるコンサルティング活動
宮武 誉	経営情報学部	4年	草薙地域での地域コラボプロジェクトの活動
曾根 和真	看護学部	4年	「防災スクールin県大2018」の主催
西 郁美	看護学部	4年	「しづおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業」の静岡市「若者へのエイズ予防啓発及びHIV検査の周知」への参画



## 短期大学部 高田研究室 高田 佳輔 講師

**一先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。**

私は、現在、オンラインゲームを対象に研究を行っています。具体的には、オンラインゲームをプレイすることでどのようなメリット・デメリットがあるのかを研究しており、近年のテーマは「オンラインゲームのプレイングが協働的問題解決能力・チームワーク能力に及ぼす影響」および「多種多様な人々との出会いが得られる憩いの場としてのオンラインゲームの利用可能性」です。

私がこの研究を行おうと思ったきっかけは、私自身が高校時代からオンラインゲームに熱中しているか

らです。学生時代において、ゲーム内での多種多様な人々との交流や、短い時間でほぼ初対面の人たちと協力して行う非常に緻密かつ高難度なクエスト活動は、現実世界では得難い素晴らしい経験となりました。さらには、そのゲーム内での経験が現実世界で活用できているという実感もありました。このような可能性を秘めたツールでありながら、国内で研究対象として扱われることはごく僅かであったことから、大学4年生の段階で研究テーマに定め、現在も継続して研究を行っています。

**一先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。**

近年、21世紀型スキルなど、現代

型の能力が注目されつつあります。その中身を見ると、「デジタルネットワークを用いた学習」や「協働的な問題解決」などの能力が近年重要視されていることがうかがえます。これらの能力は、実は、オンラインゲームをプレイする際に必要とされることが分かっています。私は、オンラインゲームの仕組みを現実世界のさまざまな学習に応用し、諸能力向上に役立てられると考えています。一例として、私の授業にはゲームの仕組みを取り入れています。

また近年、コロナウイルスが拡大する以前から、現実世界におけるコミュニケーションスペースでの交流は減少傾向にあります。その背景には、現代人の日常生活での多忙さや、距離的制限により友人と交流が難しいなどの影響でコミュニティが維持できないという問題があります。しかし

ながら、オンラインゲームプレイヤーたちは、このような状況下でもコミュニケーションを十分にとり、コミュニティを拡大し続けています。学習ツールとしてもコミュニケーションツールとしても、オンラインゲームは利用可能性を有しています。

## 一授業をしているなかで、学生の成長を感じるのはどのような時ですか。

私はデータ分析系の授業を行っています。毎回の授業ではほぼ必ず課題を出し、全員の課題を確認した上で次の授業の冒頭で評価を行い、匿名で優秀な回答を紹介しています。そこで「良かった点」や「さらに良

くするにはどうすれば良いか」等について個人的な意見を言います。するとその直後の課題の際には、さらに良くなった回答が返ってきます。また中には、私が思いもつかなかつた結果の解釈をする方もおり、学生の皆さんと一緒に私も成長させていただいているなど日々感じています。



たかだけいすけ  
**高田佳輔** 講師

2017年3月中京大学大学院社会学研究科博士課程修了。2019年より講師として本学に奉職。研究分野は社会学・社会心理学で、オンラインゲームに関する研究を行っている。主要な研究業績として「大規模多人数同時参加型オンラインロール扮演游戏のエスノグラフィ、社会学評論、69(4), 434-452, 2019年」「オンラインゲームの仮想世界が現実世界の対人関係の質および量に及ぼす影響、社会と調査、(17), 68-81, 2016年」「オンラインゲームコミュニティにおける合理的問題解決能力・チームワーク能力—Final Fantasy XIVの参与観察を通じて、社会情報学、5(1), 89-105, 2016年」がある。

### STUDENT VOICE

歯科衛生学科1年 清水 香織さん

#### 一ご自身から見て感じる、高田先生の授業の魅力や、他の授業にはない特徴についてお聞かせください。

高田先生は、非常に丁寧に課題を採点してくださいます。毎回の授業の冒頭で、生徒のレポートを紹介してとても細かく評価してくださるおかげで、授業や課題へのモチベーションが上がります。また、新型コロナウイルスの影響で現在は遠隔授業ですが、毎回の授業資料は大変分かりやすく、十分理解することができます。これからも欠席せずに先生の授業に積極的に参加していきたいです。

#### 一ご自分がご興味のある学問分野についてお聞かせください。

歯科衛生士として必要な生物分野はもちろんですが、情報についても非常に興味があります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、現代ではITの重要性が高まっています。インターネットは、歯科衛生士として情報を発信するツールの一つでもあり、そこには必ず責任が伴います。正しい知識を正確に伝えるためにも、高田先生の授業で、データを正しく読み取る力や伝えたいことを根拠となるデータとともに発信できる力をつけていきたいです。

#### 一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

まだ具体的には決まっていませんが、将来やってみたいことはたくさんあります。保健所や老人介護施設で歯科衛生士として働いてみたい気持ちも、経験を積んで認定歯科衛生士の資格取得を目指してみたい気持ちもあります。どんな場所で何をするにも、問題解決能力は非常に必要な力です。高田先生のデータサイエンス入門の授業で、論理的な思考力や分析力を身に付け、どんなときでも冷静に物事を考えられるようになりたいです。



# 活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 進藤 誉さん

卒業学部 薬薬食生命科学総合学府環境科学専攻  
(2020年3月修了)

勤務先 エスピー食品株式会社

**Q1.現在の仕事について、どのような内容をお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じるときはどのような時か、お聞かせください。**

カレーやシチューなどの即席ルウに関する新商品開発や、既存製品の品質向上業務に携わっています。弊社商品にはスパイスやハーブが用いられることが多く勉強の毎

日ですが、スパイスとハーブそれぞれの特徴を理解し組み合わせることで、想像通りの味わいを表現できた瞬間には「よしつ」と思わずガッツポーズしてしまいます。

**Q2.大学生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。**

研究室での生活です。研究室では社会に出るうえで必要な素養をたくさん叩き込まれました。中でも、自分で考え行動することの習慣化は、主体性が求められる現代において欠かせない素養だと感じています。また研究室生活を通じて得た、新しい価値を見出すことの喜びは、働くうえでも私の原動力となっています。

**Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。**

多様な個性を持った方々と関われる機会が多くある点です。これは比較的小規模かつ、学生間の距離が近い静岡県立大学ならではだと思います。学生数が少ないからこそ、個性が埋もれにくい環境が静岡県立大学にはありました。学生時代に様々な価値観を持った方々と接することは、自身の視野を大きく広げてくれます。

**Q4.今後の目標や課題について教えてください。**

目前の目標としては、スパイス&ハーブの分野のプロを目指します。スパイス&ハーブを深く知れば知るほど、日々の生活が豊かになっていくのを感じました。この豊かさを自分の携わった商品でお届けすることが出来れば、これほど嬉しいことはありません。将来的には、持続可能な生産はもちろんのこと、思想・信条や嗜好、健康など生産者と消費者双方に寄り添った商品の設計を目指します。

**Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。**

多くの制約を伴う学生生活を強いられていることだと思います。しかし現在の環境は今までにない学びや、機会も与えてくれているはずです。Web形式による講座の増加や、形骸化されていた行事の減少、自宅で就職活動を行えるようにもなりつつあります。この特殊な状況下をうまく利用し、今だからこそ、自分だからこそその強みを探してみてください。

# 活躍する在学生

The current student who plays an active part



お名前 保坂 南那美さん

在籍学部 国際関係学部国際言語文化学科3年  
(2019年入学)

**Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容をお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。**

富士市と静岡市を主な拠点として活動する「かなりあ音楽堂」さんのミュージカルに出演させていただきました。かなりあ音楽堂さんは「プロ一緒に作る舞台」をテーマに舞台活動を行なっている団体です。

その魅力はキャラクターたちの心情を表す素敵なお歌にのせてダンスをすることだと思います。自分の気持ちを伝えるのに台詞には書かれていらない部分を読み取り、表情や動きを作って歌やダンスをすることはミュージカルの醍醐味であると考えています。

**Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。**

もともと英語とサブカルチャー(特にアニメや漫画など)が好きで、日本のサブカルチャーが海外でどのように見られているか知りたかったということと、逆に海外の文化は日本でどう見られているか、比較文化を通して学びたかったため、静岡県立大学国際関係学部国際言語文化学科に行くことを志願しました。

**Q3.大学生活(研究等)と演劇活動はどのように両立されていますか。**

舞台の他にも、私は小学生の頃からバドミントンを続けていて、大学のバドミントン部にも所属していました。部活は平日3日と土曜日にあり、舞台の稽古が基本週末にあったため、稽古期間は平日は部活に行き、土曜は稽古に参加しました。部活の試合が近い時は、土曜日に練習できない分、家で素振りや筋トレといった自主練をして両立していました。

**Q4.演劇をやっていて苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。**

特に苦労したのはダンスです。私は振り付けの覚えが悪く、周りと差が出てしまいました。しかし、これも家で毎日全ての振り付けを1日1回確認してから学校へ行くというノルマをつけて克服しました。

舞台を通して学んだことは、自分の苦い経験さえ武器にできるということです。悲しさや苦しさを表すにはそれ相応の経験をしなければわかりません。辛い思い出も二度としないよう努力するということではなく、そのまま表現の糧にできてしまうのは芝居くらいだと思います。

**Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。**

将来の夢は雑誌の編集者になり、アニメ雑誌か漫画雑誌の制作に携わることです。そのためにも舞台で培った頭で考えたことを表現する力を生かしたいと考えています。今後はゼミでのレジュメ、卒論作成で学術的な文章を構成する力を養って、舞台で学んだことを今度は文章に注げるよう努めていきたいです。





## 産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

### 化粧品開発プラットフォームの強化に資する研究を推進中

#### 化粧品開発プラットフォームについて

静岡県では、化粧品製造販売業・製造業の企業が多数集積していることから化粧品産業が盛んであり、生産額についても、例年全国上位のランキングに位置し、全国シェアの約1割を占めています。更に、静岡県には多彩で豊富な農林水産品があり、これらは化粧品素材としても期待されています。そこで静岡県では、令和元年度から本格的に化粧品開発プラットフォームを立上げ、静岡県工業技術研究所では

#### <化粧品開発プラットフォーム 体制>



農林水産品から素材の開発を、静岡県立大学では機能性や安全性に関する研究を、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターでは化粧品や付加価値の高い化成品等の事業化を図るために、新製品開発の支援や企業からの各種相談対応、助成事業の有効活用、ビジネスマッチングに関するコーディネートなどをおこなっています。また、本学の研究から得られた知見は、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンターの農林水産品素材のデータベースへ掲載される予定です。

#### 化粧品開発に役立つ基礎研究フォーラムの開催について

化粧品開発プラットフォームにおける中間報告として、本学では2021年3月22日に「化粧品開発に役立つ基礎研究フォーラム」をオンラインで開催しました。

そこでは、静岡県工業技術研究所からは「静岡県産素材の機能性を活かした化粧品研究の取組み」を、静岡県立大学からは美肌の為の機能性に関する研究、光保護機能、オーラルケアなどの様々なイノベーティブな化粧品開発に役立つ基礎研究について令和2年度に実施した6課題の研究成果の報告をおこないました。また、基調講演では、福井技術士事務所 福井 寛様から、素材開発を牽引してきた豊富な研究体験や、具体例を交えながら化粧品原料として使用する際の規則や留意点についてお話をいただくなど、大変役立つ講演がありました。

当時は、化粧品関連企業、素材、化学等の企業の方をはじめ、行政機関、一般の方、学生など、全国から220人を超えるたくさんの方にご視聴いただき、大変好評でした。

今後も本学は化粧品開発プラットフォームにおいて、化粧品研究開発の基盤となる技術や知見を収集し、県内のみならず産業界の化粧品開発のさらなる発展に役立てるよう支援してまいります。

#### <研究発表一覧>

##### 「静岡県産素材の機能性を活かした化粧品研究の取組み」

静岡県工業技術研究所 山下 里恵 食品科長

##### 「光保護機能物質の探索と化粧品素材への応用研究」

薬学部 尾上 誠良 教授

##### 「県産品エキスの皮膚細胞における多角的な機能性評価」

食品栄養科学部 寺田 祐子 助教、伊藤 圭祐 准教授

##### 「静岡特産品の機能性を利用した化粧品開発の基礎的研究」

食品栄養科学部 三好 規之 准教授

##### 「日本酒の吟釀酒粕とオリーブの絞り残渣との静岡県産コラボヌードー美容素材の開発研究」

薬食研究推進センター 山田 静雄 特任教授

##### 「酵素経皮送達技術を活用した糖鎖科学に基づく革新的なスキンケアの基礎的研究」

薬学部 南 彰 講師

##### 「オーラルケア化粧品に添加可能な県産機能成分を徐放可能なマイクロ粒子の設計」

薬学部 照喜名 孝之 助教

#### お問い合わせ窓口

静岡県公立大学法人  
静岡県立大学 地域・産学連携推進室

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52番1号  
E-mail: renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp TEL:054-264-5124

## 大学での時間を図書館で過ごしてみませんか？

本年度より附属図書館長となりました轟木です。早速ですが、普段、皆さんには本館をどのように利用していますか？遠隔講義の受講や試験勉強だけでは勿体ないほど設備や蔵書(42万冊以上！)が整っています。授業に関する書籍は勿論、専門書は特に充実しており必要なものは購入希望も出せます。また、グループワークルームやセミナールーム、ラーニングコモンズといった少～大人数で議論できるスペースも用意されています。さらに学生選書ツアーや新聞ランチといったイベントも定期的に開催され、知やヒトとの繋がりの場となっています。

ちなみに私の図書館活用法は、分野を問わずに書棚を不審者のようにフランフラと巡り、気になったタイトルの本を立ち読みしながら回ることです。ネット書店や検索では辿り着けない異分野の本に出会えたり研究テーマの着想となったりしています。また、一部の方には共感してもらえると思いますが、古書のカビ臭に混じる複雑な匂いが好きで、学生時代は文献調査を兼ねて半日以上書庫に籠もったりしていました。この匂いは紙やインク、装丁に含まれる成分から生成するフルフラール、ベンズアルデヒド(アーモンド臭)、バニリン(バニラの風味)などの揮発性有機化合物が混ざったものでこれらを分析し解析することで古書の年齢や保存状態を知ることができます(Analytical Chemistry, 81, 8617 (2009))。

閑話休題。コロナ禍で外出や様々な活動が制限されていますが、図書館＝学修の場と限定せずに大学でのひとときを本館で過ごしてはいかがでしょうか？知識豊富なスタッフが親切に対応してくれると思います。本館での時間が皆さんにとって有意義なものになることをスタッフ一同願っています。

### 私の一冊の本



**著 者：**澤村 修治  
**出版社：**図書新聞  
**請求記号：**C0021  
**I SBN :**978-4-88611-452-5

第二次世界大戦後約70年以上の年月が経過した現在、戦争体験者の高齢化から直接体験談を伺う機会が年々困難になってきています…そのため、直接お話を伺うことができなくとも、せめて体験者の方々がどのような体験をされたのかを、記録に残し後世に伝えていくことの重要性がさかんに言われるようになりました。

私は、ここ数年間授業で看護師のストレスについて講義をし

**紹介者** 看護学部 準教授 長澤利枝

**紹介図書** 「日本のナイチンゲール～従軍看護婦の近代史」について

てきましたが、「看護師にとって最も大きなストレスを受ける状況とは何か？」を考えていくと、戦争という極限の状況下で看護活動を行うことではないのか…ということに思い当たりました。歴史を振り返る中で、第二次世界大戦時、日本においても日本赤十字社の看護婦達が、従軍看護婦として中国や東南アジアの各国へ派遣され、想像を絶する過酷な状況下で精一杯の最善を尽くし、看護活動をしていたことが改めてわかりました。

この本では、日清戦争から太平洋戦争までの各戦争期における、日本赤十字社の従軍看護婦たちの状況が、時代背景と共に年代順に述べられています。

彼女たちは、「軍に従って行動し、内地の予備病院だけでなく外地の病院船や兵站病院、ときには第一線の野戦病院でも働く存在だった。<中略>近代日本において看護婦は、戦争に参加した最大の女性集団である。」と述べられていました。

そして、太平洋戦争末期には、「看護婦たちは厳寒の地では凍傷に悩まされ、南方では風土病にやられた。戦闘地域では空襲

を受け、機銃照射にも見舞われた。病院船では機雷攻撃を受けた。ジャンケルをさまよって倒れる者、力尽きて動けなくなる者、戦局悪化ののちは、悲惨な最期を迎えた看護婦は少なくなかった。」と述べられていました。ちなみに別資料では、戦時下の厳しい経験がトラウマとなって、精神疾患を発症したり、自殺に至った看護婦がいたということも記載されています。(「戦争と看護婦」川嶋みどり他, 2016.)

かつて日本の看護婦達が、戦争という極限下で耐えうる限界に近いストレスを抱えながら、看護活動を行っていた事実があったことを知ることで、看護とは何か、平和とは何かについて、改めて考える契機としていただけようかと思います。

戦時下の看護婦についての授業を受けての感想に、次のようなことを書いた学生がいました。「平和な時代に生まれて、看護ができる幸せを感じました…」戦時下の看護婦たちが願つたであろう平和への想いが引き継がれていく…そんな実感から、ふと胸が熱くなりました。

## 教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトのニュース&amp;トピックスからご覧いただけます。

	受賞者名	所 属	受 賞 名
教 員	杉山 栄二 助教	薬学部	2021年度日本薬学会物理系薬学部会 奨励賞
学 生	大石 真菜 船水 純那 多田 智彦 長谷川 凌真 山梨 まどか 村上 大地 稲田 理毅 西澤 慶 相良 浩人 長沢 思音 市田 泰輝 小塚 康平	薬食生命科学総合学府 経営情報学部 国際関係学部 薬学部 薬食生命科学総合学府 日本薬学会第141年会 口頭発表の部 学生優秀発表賞	2020年室内環境学会学術大会 大会長奨励賞 情報処理学会第83回全国大会 学生奨励賞 第30回小泉八雲顕彰文芸作品コンクール 優秀賞 日本薬学会第141年会 ポスター発表の部 学生優秀発表賞 農芸化学研究 新企画賞

※2021年1月から5月までに本学の公式ホームページに掲載依頼のあった受賞を掲載しています。  
※役職は受賞当時のものです。

## 教員人事

## ◆採用

2021年4月1日付

原 雄二	薬学部薬学科	教 授
竹内 英之	薬学部薬学科	教 授
村上 央	大学院薬学研究院	助 教
細岡 哲也	食品栄養科学部栄養生命科学科	准教授
江口 智美	食品栄養科学部栄養生命科学科	講 師
吉岡 泰淳	食品栄養科学部栄養生命科学科	助 教
佐藤 友紀	食品栄養科学部栄養生命科学科	助 教
蘇 泓如	食品栄養科学部食品生命科学科	助 教
米野 みちよ	国際関係学部国際言語文化学科	教 授
田村 敏広	国際関係学部国際言語文化学科	准教授
山本 健介	国際関係学部国際関係学科	講 師
松岡 清志	経営情報学部経営情報学科	講 師
堀 芽久美	看護学部看護学科	准教授
成瀬 早苗	看護学部看護学科	准教授
榎 みのり	看護学部看護学科	助 教
丸山 始美	看護学部看護学科	助 教
洞口 典子	看護学部看護学科	助 教
Hempstock Wendy Leanne	看護学部看護学科	助 教

2021年5月1日付

小泉 佑介	大学院国際関係学研究科	助 教
2021年6月1日付		
伊藤 純子	看護学部看護学科	助 教

## ●特任教員採用

合田 敏尚	食品栄養科学部栄養生命科学科	特任教授
-------	----------------	------

## ●教員昇任・異動

古島 大資	薬学部薬学科	講 師
吉田 真樹	国際関係学部国際言語文化学科	教 授
鈴木 さやか	国際関係学部国際言語文化学科	准教授
上野 雄史	経営情報学部経営情報学科	教 授
六井 淳	経営情報学部経営情報学科	教 授
沖本 まどか	経営情報学部経営情報学科	講 師
内田 信也	薬学部薬学科	教 授
中野 祥吾	食品栄養科学部食品生命科学科	准教授
天野 ゆかり	経営情報学部経営情報学科	講 師

## ◆退職

●専任教員・定年退職 2021年3月31日付

鈴木 隆	薬学部薬学科	教 授
武田 厚司	薬学部薬学科	教 授
並木 徳之	薬学部薬学科	教 授
新井 映子	食品栄養科学部栄養生命科学科	教 授
合田 敏尚	食品栄養科学部栄養生命科学科	教 授
守田 昭仁	食品栄養科学部栄養生命科学科	助 教
小幡 壮	国際関係学部国際言語文化学科	教 授
宮田 律	国際関係学部国際関係学科	准教授
金川 幸司	経営情報学部経営情報学科	教 授
松浦 博	経営情報学部経営情報学科	教 授

## ●専任教員

吉田 卓矢	食品栄養科学部栄養生命科学科	助 教
長谷部 文人	食品栄養科学部食品生命科学科	助 教
本田 沙理	食品栄養科学部食品生命科学科	助 教
石川 吉伸	薬学部薬学科	准教授
下條 尚志	大学院国際関係学研究科	助 教
田中 悠美	看護学部看護学科	講 師
山崎 泰広	薬学部薬学科	講 師
伊藤 聖子	食品栄養科学部栄養生命科学科	助 教
村方 多鶴子	看護学部看護学科	准教授
鈴木 琴江	看護学部看護学科	准教授
石切山 千恵	看護学部看護学科	助 教

## ●特任教員

武田 修一	国際関係学部国際言語文化学科	特任教授
奥村 昭博	経営情報学部経営情報学科	特任教授
玉野 春南	薬学部薬学科	特任講師

## ●専任教員 2021年5月31日付

三宅 祐一	食品栄養科学部環境生命科学科	助 教
-------	----------------	-----

## はばたき

次号143号は2022年2月発行の予定です。

143号 2021年7月15日発行  
発行元／静岡県立大学広報委員会

■静岡県立大学 教育研究推進部広報・企画室  
〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1  
■TEL／054-264-5130 ■FAX／054-264-5099  
■E-mail／koho@u-shizuoka-ken.ac.jp  
■URL https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/



## ご意見・情報を寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか、ご卒業生などに関連する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

広告

「はばたき」読者限定!

# 県大生応援キャンペーン!!

2021年（お申込時にこの冊子をご持参下さい）

7/1～9/30までに  
ご入校の方に  
5,000円分の  
クオ・カードを  
プレゼント！ ¥5,000

山梨県自動車で入校の方が対象です。  
免許取得の方は対象外となります。

お申込みは  
フリーダイヤル 0120-155-168 | 携帯からでもOK  
（オーディオナビゲーション）

**公認 古庄自動車学校**

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号  
TEL:054-261-1551  
FAX:054-264-0940  
URL:<http://www.flushyou.co.jp>  
Email:[main@flushyou.co.jp](mailto:main@flushyou.co.jp)

古庄は  
特典がいっぱい

優先予約で短期取得可

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

夜間料金無料

免許は取ったけどしばらく乗っていないから運転が不安で…

卒業生特典  
ペーパードライバー講習  
1時間無料

\*普通車のみ：2・3・8月を除く

■発行日／2021年7月15日  
■発行／静岡県立大学 広報委員会

**県大生  
向け情報** **卒業式はかま** レンタル

— 静岡県内トップクラスの衣裳数と便利なサービス —

**卒業式当日**

※感染症による変更可能性有り。

**思い出にのこる卒業式に**

**草薙校舎内で  
着付け・ヘア・写真・返却！**

**【無料バス】草薙校舎 ⇄ グランシップ**

**学校内展示会**

★マスク着用、お願い致します。  
★混雑具合により、一時的にご入場をお待ち頂くことがございます。

**場所：草薙校舎上食堂ラウンジ**  
**時間：11時～17時（最終入場16時30分）**

●7月19日（月）20日（火）2021年  
●10月18日（月）19日（火）2021年

※展示会7日前に開催有無をHPで公開！

**京都むらまつ**

静岡市葵区馬場町25-2（セノバ徒歩13分）  
営業：9:30～17:00（水曜定休）  
電話：0120-144-081 ※当面「来店予約制」。

「指定校情報みてね！」  
京都むらまつ